



花と緑と音楽の
おもてなし

2024 広島交響楽団 「平和の夕べ」コンサート

Hiroshima Symphony Orchestra
An Evening of Peace Concert 2024



クリスティアン・アルミンク
音楽監督就任!
《SECRETS》
～音楽の不思議～



指揮:クリスティアン・アルミンク
Conductor: Christian Arming
©Shumpet Ohsugi

ソプラノ:並河寿美
Soprano: Hisami Namikawa

メゾ・ソプラノ:藤村実穂子
Mezzosoprano: Mihoko Fujimura

©RandG Photography

「復活」 交響曲第2番ハ短調

Mahler:
Symphony No.2 in C minor "Auferstehung"

コンサートマスター:三上亮
Concertmaster: Ryo Mikami



広島交響楽団 Hiroshima Symphony Orchestra



合唱:東京オペラシンガーズ Chorus: Tokyo Opera Singers

2024 8/6 (火) 広島文化学園
HBGホール 広島市中区加古町3-3

18:45開演 (17:45開場)

Tue. August 6, 2024 Start 18:45 (Open 17:45)

Hiroshima Bunka Gakuen HBG Hall

■チケット発売日/2024年6月6日(木)

■チケット料金/S席:5,000円 A席:4,000円 (学生:2,000円)

■プレイガイド/ JMSアステールプラザ情報交流ラウンジ、広響webチケット、広響事務局
チケットぴあ (Pコード267-976)、ローソンチケット (Lコード61631)

※学生席は小学生以上25歳以下の学生が対象。要学生証。(広響事務局のみで取り扱い) ※就学前のお子さまのご入場はご遠慮ください。
※本公演では途中休憩がございません。 ※開演時間に遅れた場合、入場に制限がございます。
※やむを得ぬ事情により、出演者・曲目等を変更する場合がございます。

■主催/広島市、公益財団法人広島市文化財団、
公益社団法人広島交響楽協会、中国新聞社

■共催/ 音楽は平和を運ぶ

■助成/ 文化庁文化芸術振興費補助金
(舞台芸術等総合支援事業(公演創造活動))
独立行政法人日本芸術文化振興会
公益財団法人三菱UFJ信託芸術文化財団

■プレミアム協賛/ 100年をつくる会社
in 鹿島

お問い合わせ 広響事務局 082-532-3080

公式ホームページ <http://hirokyo.or.jp/>

2024「平和の夕べ」コンサート

～死と再生、未来への翼～

クリスティアン・アルミンクの音楽監督就任の節目として、広響を初めて指揮した2014年以来「平和の夕べ」でマーラーの交響曲を紡いできた、その流れを汲みマーラーの「復活」を演奏する。

8月6日の「原爆の日」に「復活」を演奏するのは1999年「オーガスト・イン・ヒロシマ'99」以来、25年ぶりとなる。

広島への原爆投下からわずか18年後の1963年、広島市民交響楽団として発足し、60年の時を超え成長した広響が今こそ復興の証として「復活」を高らかに歌い上げ、楽団を支え続けた先人たちと音楽を愛する全ての市民に「未来への賛歌」を届ける。

Profile

指揮：クリスティアン・アルミンク Conductor: Christian Arming

ウィーン生まれ。レオポルト・ハーガーや小澤征爾のもとで研鑽を積み、ボストン響や新日本フィルにデビュー。ヤナーチェク・フィルの首席指揮者、ルツェルン歌劇場およびルツェルン響の音楽監督などを経て、2003～13年に新日本フィル、2011～19年にベルギー王立リエージュ・フィルの音楽監督として活躍した。2017年から、広島交響楽団の首席客演指揮者を務め、2024年4月に同団の音楽監督に就任。

これまでにチェコ・フィル、ドレスデン・シュターツカペレ、フランクフルト放送響、ウィーン響、ザルツブルク・モーツァルテウム管、トゥールーズ・キャピトル国立管、スイス・ロマン管、ボストン響、シンシナティ響、N響などに招かれ、オペラではフランクフルトやストラスプールの歌劇場、新日本フィルなどで《ドン・ジョヴァンニ》《サロメ》《ホフマン物語》《フィレンツェの悲劇》などを指揮している。2019年には小澤征爾音楽塾オペラ・プロジェクトで小澤征爾と共に《カルメン》全4公演を指揮した。

レコーディングも数多く、ヤナーチェク・フィルとのヤナーチェク、シューベルト作品、新日本フィルとのブラームス/交響曲第1番、マーラー/交響曲第3番および第5番、リエージュ・フィルとのフランク/交響曲二短調などをリリース。また、シルバ・オクテット、リエージュ・フィルとの共演によるディスクがドイツ・グラモフォンからリリースされた。



ソプラノ：並河寿美 Soprano: Hisami Namikawa

大阪音楽大学卒業、大阪音楽大学大学院オペラ研修室修了。平成9年度神戸・灘ライオンズクラブ音楽賞、平成18年度兵庫県芸術奨励賞及び音楽クリティッククラブ賞、平成24年度神戸市文化奨励賞、平成30年度文化庁芸術祭大賞、令和元年度兵庫県文化賞他多数受賞。

オペラでは、新国立劇場『おさん一心天網島より』(世界初演)、びわ湖ホール・神奈川県民ホール『トゥーランドット』『アイダ』及び兵庫県立芸術文化センター『蝶々夫人』タイトルロールとして出演。また、佐渡裕芸術監督プロデュースオペラ『フィガロの結婚』伯爵夫人、『メリー・ウィドウ』ハンナ、日生劇場『フィデリオ』レオノーレ、二期会『イル・トロヴァトーレ』レオノーラ(A.パッティストーニ指揮)等数多く出演。

コンサートでは、ズービン・メータ指揮「第九」(東日本大震災支援チャリティーコンサート)、ベートーヴェン「ミサ・ソレムニス」、モーツァルト「戴冠ミサ」、ヴェルディ及びフォーレ「レクイエム」、ベルゴレージ及びロッシーニ「スターバト・マーテル」、大野和士指揮サントリー音楽賞受賞記念演奏会「マーラー交響曲第2番「復活」、オルフ「カルミナ・ブラーナ」等」に出演。2023年ポロニャ歌劇場来日公演「トスカ」(岡山・大阪)にタイトルロールとして急遽出演し絶賛を博した。大阪音楽大学特任准教授。二期会会員



メゾ・ソプラノ：藤村実穂子 Mezzosoprano: Mihoko Fujimura

ヨーロッパを拠点に国際的な活躍を続ける、日本を代表するメゾ・ソプラノ歌手。

主役級としては日本人で初めてバイロイト音楽祭にデビューし、フリッカ、グンドリ、ブランゲーネ、ワルトラウテ、エルダなどの主役で9シーズン連続出演。ニューヨーク・メトロポリタン歌劇場、ミラノ・スカラ座、ウィーン国立歌劇場、ミュンヘン国立歌劇場、パリ・シャトレ劇場、ベルリン・ドイツ・オペラ、ドレスデン国立歌劇場、フィレンツェ歌劇場、ヴェローナ歌劇場、バルセロナ・リセウ歌劇場、ザルツブルグ祝祭大劇場等に出演の他、ウィーン・フィル、ベルリン・フィル、ロイヤル・コンセルトヘボウ管、バイエルン放送響、ロンドン響、ロンドン・フィル、バリ管、ライブツィヒ・ゲヴァントハウス管、スイス・ロマン管等の世界的なオーケストラ、ティールマン、アッパード、メータ、エツィエンパツハ、シャイー、ヤンソンス、ネルソンス、ネゼ=セガン、ガッティ、ドゥダメル等の著名指揮者とも共演している。

またブランゲーネ役でブラシド・ドミンゴとのCD録音「トリスタンとイゾルデ」(EMI社)でも各方面より注目を浴びた。

東京芸術大学音楽学部声楽科卒業、同大学大学院及びミュンヘン音楽大学大学院修了。'02年出光音楽賞、'03年芸術選奨文部科学大臣新人賞、'07年エクソンモービル音楽賞、'13年サントリー音楽賞、'14年紫綬褒章をそれぞれ受賞。



合唱：東京オペラシンガーズ Chorus: Tokyo Opera Singers

1992年 小澤征爾指揮、蜷川幸雄演出で話題を呼んだ歌劇「さまよえるオランダ人」の公演に際して、世界水準の合唱をという小澤征爾の要請を受け、東京を中心に活躍する中堅、若手の声楽家によって組織された。当公演の合唱は圧倒的な成果を上げ、その評価により同年、第1回サイトウ・キネン・フェスティバル、バイエルン国立歌劇場日本公演に招聘され、再び高い評価を得た。

「セイジ・オザワ・松本フェスティバル」「東京・春・音楽祭」を活動の中心に置くほか、ウィーン・フィル(S・ラトル、小澤指揮)、シカゴ交響楽団(R・ムーティ指揮)など多くの著名オーケストラの来日公演に出演。

海外での評価も高く、1999年エディンバラ音楽祭、2018年上海国際芸術祭、2019年上海交響楽団演奏会、2020年北京国際芸術祭「相約北京」に出演。

2024年には広島交響楽団と3演目の共演が予定されている。